

# 長期間安定的に有機排水を浄化できる伏流式人工湿地ろ過システム

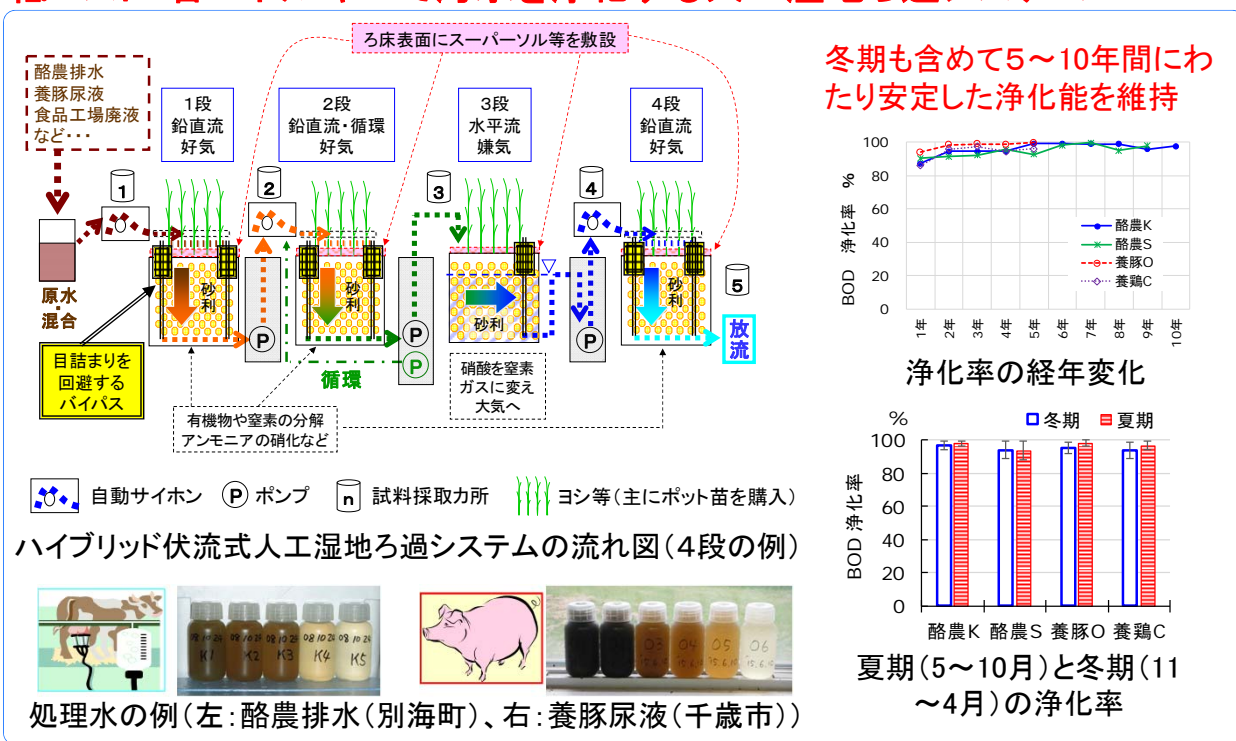
従来の人工湿地に比べ、コンパクトで寒冷地でも安定的な低コスト・省エネルギー・省力的な排水処理技術

## 研究開発の背景

- 畜産系の高濃度有機排水の浄化処理は、低コスト・省力的で冬期も含めて安定して運用できる技術が求められている。

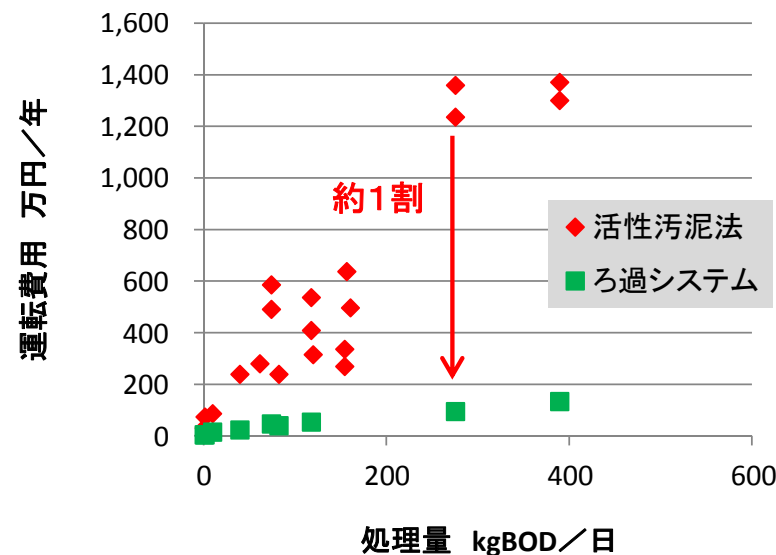
## 研究成果の内容

### 低コスト・省エネルギーで汚水を浄化する人工湿地ろ過システム



導入メリット

- ・運転費用は一般の活性汚泥処理の約1割
- ・保守管理は容易で省力的
- ・面積は従来の人工湿地の2~5割



活性汚泥処理法と人工湿地ろ過システムのコスト比較  
(原水及び処理水のBODが同じ条件で比較)

## 期待される効果

- ・低コストかつ省力的な水処理技術であり、水処理に要する費用と時間を大幅に減らすことができる。
- ・水環境保全とともに農業経営も改善し、省エネルギーにも貢献できる。

開発機関: 農研機構東北農業研究センター、(株)たすく、北海道大学、岩手県立大学、農研機構北海道農業研究センター、予算区分【運営費交付金、競争的資金、科研費、JST A-step】

導入をオススメする対象  
酪農施設、養豚場、養鶏場、食品工場など